

公1 青少年の読書活動を振興するための活動の普及及び啓発事業

ア 図書選定

1. 学校図書館向き図書選定……………【選定部】…(1)
小・中・高等学校図書館向き図書を選定する「図書選定会議」を実施した。
「図書選定会議」は2020年5/25、6/8、6/22、7/13、7/27、8/24、9/14、9/28、10/12、10/26、11/9、11/24、12/14、2021年1/25、2/8、2/22、3/8、3/22の18回開催した。
なお、4/13、4/27は新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止、2021年1/12は延期した。
全国学校図書館協議会(以下、「全国SLA」という)が委嘱する選定委員が学校図書館向き図書を「全国学校図書館協議会選定図書」として選定し、その結果を機関誌『学校図書館速報版』で随時発表した。

イ 読書調査

1. 「学校読書調査」の実施……………【調査部】…(2)
青少年の読書推進や読書環境整備等に資するため、読んだ本の量、読んだ本の題名、読書生活などの実態を調べる「第66回学校読書調査」を毎日新聞社と共催で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止に関わる臨時休校措置のため、実施を見送った。
コロナ禍の臨時休校中、学校として読書指導で行ったものや学校図書館として行った活動は何か、学校図書館の電子化や電子書籍に関する状況に変化があったのか、また児童生徒の読書に関わる意識や行動に変化が見られたのかという内容を教職員回答の方法で「新型コロナウイルス感染症に関連した学校休業、学校再開後の授業対策等にかかわる学校図書館及び児童生徒の読書実態アンケート」を9月に実施した。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出(1,042校)で実施。回収率は小学校231校(39.3%)、中学校126校(40.9%)、高等学校83校(56.8%)であった。
2. 「学校図書館調査」の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館の整備充実を図るため、学校図書館の蔵書、予算、職員、運営等の実態を調べる「2020年度学校図書館調査」は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策により時期をずらして9月に実施した。この調査は、全国の小・中・高等学校から3%を無作為抽出(1,042校)で実施。回収率は小学校233校(39.6%)、中学校128校(41.6%)、高等学校86校(58.9%)であった。
3. 市区町村における学校図書館図書整備費予算化の実態調査の実施……………【調査部】…(2)
学校図書館整備推進会議と共催して、全国の市区町村教育委員会に対して、令和2年度の学校図書館図書整備費約220億円を予算化するよう要請するとともに、各自治体に対する予算化状況のアンケートを7月実施し、1,029教育委員会(回収率59.1%)から回答を得た。

ウ 機関誌発行

1. 機関誌『学校図書館』および『学校図書館速報版』の刊行……………【編集部】…(5)
機関誌『学校図書館』(月刊)および『学校図書館速報版』(月2回)を定期的に刊行した。『学校図書館』は、学校図書館や青少年の読書に関する実践や研究論文等を中心に掲載した。『学校図書館速報版』は、学校図書館や読書、学校図書館メディアに関する情報等を掲載した。

エ 各種コンクール

1. 青少年読書感想文全国コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の習慣化を図り、豊かな人間性や考える力を育むことなどを目的とした「第66回青少年読書感想文全国コンクール」を毎日新聞社と共催で実施した。
表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。
①「青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」
全国SLAが委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「課題図書」として、

「第 67 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書」18 冊を選定した。

2. 読書感想画中央コンクールの実施……………【プロジェクト】…(1)
読書の感動を絵画表現することで読書力や表現力を養うことを目的とした「第 32 回読書感想画中央コンクール」を毎日新聞社と共催で、山口県・九州地区を除く 38 都道府県で実施した。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。

- ① 「読書感想画中央コンクール 指定図書」

全国 S L A が委嘱する選定委員により、同コンクールで主催者が指定する「指定図書」として、「第 32 回読書感想画中央コンクール 指定図書」13 冊を選定した。

オ 優良図書の普及

1. 「日本絵本賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に「第 25 回日本絵本賞」を授賞した。日本絵本賞大賞は『くろいの』（偕成社）、日本絵本賞は『なまえのないねこ』（小峰書店）、『金の鳥：ブルガリアのむかしばなし』（B L 出版）、『ぱんつさん』（ポプラ社）の 3 作品。翻訳絵本賞は該当なし。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。

- ① 「えほん 5 0」「日本絵本賞最終候補絵本」の選定

全国 S L A 絵本委員により、「2021 えほん 5 0」と「第 26 回日本絵本賞最終候補絵本」を選定した。

- ② 「絵本週間」の実施

優れた絵本文化の発展と、学校や家庭への絵本読書の定着を目指して「絵本週間」を実施した。

- ③ 「日本絵本賞ポップ交流サイト」の試行

読書活動として、「第 25 回日本絵本賞最終候補絵本」を対象とした「日本絵本賞ポップ交流サイト」を試行的に実施した。

2. 「夏休みの本（緑陰図書）」の選定……………【プロジェクト】…(1)

全国 S L A が委嘱する選定委員により、夏休み中に子どもたちにぜひ読んでほしい図書として、「第 53 回夏休みの本（緑陰図書）」40 冊を選定した。

- 3 詩のあん唱運動の実施……………【プロジェクト】…(1)

読書活動の一環として詩のあん唱運動を実施し、普及のため詩のあん唱コンクール（SOLASIDO）を 2020 年度に開始した。

カ S L B A の図書の選定

1. 「学校図書館図書整備協会（S L B A）選定図書」……………【プロジェクト】…(1)

全国 S L A の選定委員により、学校図書館の蔵書整備等を目的とした「一般社団法人学校図書館図書整備協会（以下「S L B A」という）」の委嘱を受けて「S L B A 選定図書」を選定した。

キ 学校図書館出版賞

1. 「学校図書館賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

学校図書館に関する運動、論文、実践の 3 分野での優れた実績を顕彰する「第 50 回学校図書館賞」は学校図書館大賞、学校図書館賞は該当がなく、学校図書館奨励賞は論文の部で伊達深雪氏に、実践の部で「山口県立小野田高等学校」と「豊島岡女子学園中学校高等学校」に授賞した。引き続き「第 51 回学校図書館賞」を募集した。

2. 「学校図書館出版賞」の授賞……………【プロジェクト】…(1)

学校図書館向き図書の優良な出版企画に対して出版社を表彰することで学校図書館向き図書の出版の振興を目的とした「第 22 回学校図書館出版賞」を授賞した。学校図書館出版賞は『大接近！スポーツものづくり』全 6 巻（岩崎書店）、『固有種が教えてくれること』全 3 巻（金の星社）、『データの達人：表とグラフを使いこなせ！』全 4 巻（ポプラ社）の 3 企画。特別賞は『絵本世界の食事』全 25 巻（農山漁村文化協会）。

公2 学校図書館を充実発展するための活動の普及及び啓発事業

《1. 研究・研修》

1. 学校図書館担当職員のためのスキルアップ及びリカレント教育の実施……………【研究部】…(1)
司書教諭や学校司書等を対象にした「学校図書館実践講座」は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため対面による開催を見合わせたが、「SLA 情報局 Online」として遠隔配信により情報発信をした。学校図書館指導主事の資質・能力向上をめざし、文部科学省委託事業「指導主事の資質・能力向上と指導主事ネットワークの構築に関する取組」を青森県教育委員会と共に実施した。また、指導主事の手引「一人1台端末時代の学校図書館担当指導主事の仕事と知識(案)」を作成した。学校図書館の情報資源を活用し、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支え、情報活用能力を身に着けさせる授業展開のすそ野を広げることを目的として、「情報活用授業コンクール」を企画・実施した。「学校司書研修講座」は開催を見合わせた。
2. 「学校図書館セミナー」の開催……………【研究部】…(2)
第22回図書館総合展 ONLINE において、11月5日・6日に「学校図書館セミナー2020」を「GIGA スクール構想×学校図書館」をテーマに第1部を文部科学省 初等中等教育局 初等中等教育企画課 学びの先端技術活用推進室 専門官の佐藤有正氏、第2部を元・金沢星稜大学教授の佐藤幸江氏を講師に開催した。
3. 学校司書資格及び研修制度の研究……………【プロジェクト】…(2)
学校司書の法制化に対応しての資質の向上を図るための研修制度のあり方に関する研究成果については公表できなかった。
- ☆ 4. 「全国学校図書館研究大会」の開催……………【プロジェクト】…(2)
「第42回全国学校図書館研究大会(高松大会)」を8月5日、6日、7日の3日間、香川県高松市において開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。

《2. 資料・情報提供》

1. 写真ニュース『としょかん通信』の刊行……………【編集部】…(5)
学校図書館や読書に関する情報および学校図書館の利用に役立つ情報を掲示用写真ニュースとして、月刊『としょかん通信』(小学生版・中高校生版の2種)を刊行した。
編集を外部のプロダクションに委託することで、効率的な制作を目指した。
2. 各県SLAのWebサイト作成……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAのWebサイト上に各県SLAのWebサイトを開設し、県SLAの情報提供、研究会・研修会の募集、県SLA組織内の連絡等の利用に供した。
3. 各県SLA・各地区SLAへの訪問の実施……………【プロジェクト】…(3)
新型コロナウイルス感染症蔓延防止策による移動制限などで、組織訪問は行えなかった。
4. 各県SLA作成の刊行物の監修・作成協力等の実施……………【プロジェクト】…(3)
刊行物の監修・作成協力等により内容の充実と刊行物の普及に努めた。
5. Webサイトメールマガジンの活用……………【プロジェクト】…(5)
各県SLAおよび会員へ速やかな情報配信のためにメールマガジンによる情報発信を活用した。
6. 啓発図書『心の届く読み聞かせ：プロが教える読み方の基本』(仮題)は編集中である。
アナウンサーの目から見た読み聞かせの基本を紹介する単行本
②『青春の本棚』の刊行
機関誌に連載していた『青春の本棚』を整理して単行本として12月に刊行した。

《3. 学校図書館の充実発展》

1. 機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及……………【プロジェクト】…(3)
学校図書館に関する研究を深めるため、各県SLAの協力を得て、機関誌『学校図書館』及び『学校図書館速報版』の活用と普及活動を行った。
2. 各県SLA事務局長会議の開催……………【プロジェクト】…(3)
全国SLAの事業、組織、活動について連絡調整を図るため各県SLA事務局長会議を2021年2月4日(木)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため、対面での開催を中止した。
3. 全国SLA研究協力員制度の検討及び委嘱……………【プロジェクト】…(3)

全国SLAが行う研究活動や研究成果の普及を図る「全国SLA研究協力員制度」については、各県SLAから研究、実践に熱心な教職員の推薦を受けて委嘱するが、今年度は推薦が無かった。

4. 各県SLAへの研究助成……………【プロジェクト】…(3)
各県SLAの研究活動を支援するために研究助成を行った。

《4. 研究視察》

1. 国内・海外学校図書館研究視察……………【プロジェクト】…(3)
本年度は実施しなかった。

《5. 事業の活性化》

1. 全国SLA学校図書館スーパーバイザー制度の拡充……………【プロジェクト】…(1)
全国SLA学校図書館スーパーバイザーによる指導・助言により各地域や各校の学校図書館の活性化を図った。
2. 公益社団法人の財政再建……………【プロジェクト】…(6)
新事業の展開と赤字事業の削減等により、公益社団法人として財政再建の基盤整備を進めた。
3. 学校図書館報告会の開催……………【プロジェクト】…(6)
特別会員を招いて開催する、教育や学校図書館、情報メディアなどに関する報告会は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため中止した。
4. 学校図書館研究資料室の整備充実……………【プロジェクト】…(6)
学校図書館に関する資料の整備充実、コンピュータによる蔵書の管理と活用等の研究を進めた。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。